

# 【理想の教師像をめぐる】

## ○ 殉職から美談へ：「子ども思い」の献身的教師像

### 第六 遺 事

一 よく死んで呉れた

小野訓導の實父政治(天)氏は關節炎で久しく病床に就いて居たのであるが、當日「小野先生が生徒を助けようとして死なれました」との知らせを受けると「水泳ぎの時節でもないのに、川になど入つて人様の大切な子供を殺したのは實に申譯がない。娘が生きて居たら殺してお詫びをしなければならぬ」と人々の止めるのも肯かず病む身を馬に乗つて現場に駆けつけたが引揚げられた屍骸を見て「よく死んで呉れた」といひ更に集つた人々に「娘の氣性として生きて居ないとは思ひました。」と語つたさうだが、誠にこの父あつてこの子ありといふべきである。



小野訓導を  
模範にせよと

今日千五百名の

女教員に講演

宮城県みやぎけんの殉職訓導しゆんしやくくんと小野おのさつき女史にょしの壯烈そうれつな行爲こうゐに就あて東京市とうきやうしの佐々木ささき視學長しがくちやうは個人こじんとして同地どうちに出張しゅちやう真相しんじやうを詳細しんじゆに調査ていさして來た結果けつこ市育界いくかいにも多大たいたの教訓きやうくんを含むあむ美談びだん

『読売新聞』 1922年7月14日

\* 訓導とは、戦前における小学校教員の呼称。

1922年7月7日、宮城県の若い女性教師・小野さつきが溺れる教え子を助けに川に飛び込み、命を落とした事件。日本教育史上とくに有名な殉職事件。

美談化の歴史からみえる、  
国民が求める教職への期待の高さ (重み)

